

市立学校に空調を整備

より良い教育環境へ



快適な教室で授業を受けています（曾我部小学校）

学校は、子どもたちが一日の大半を過ごす学習・生活の場。亀岡市教育委員会では、近年の平均気温の上昇による夏季の熱中症予防などの健康面への配慮と、児童生徒が意欲を持って学ぶことが出来るよう快適な学習環境の整備として、平

成29年から市内の市立学校（小学校17校、中学校7校）の空調整備工事を進めてきており、今年度に全ての工事が完了します。

これまでから、市議会をはじめとする、多くの市民の皆さんから児童生徒が学習する各教室に空調の設置を希望する声をいただいております。工事開始までは職員室や校長室などの管理諸室や音楽室などの一部の特別教室にのみ設置されていきましたが、今年度の工事が完了すれば、市立学校全ての授業で使用する教室に空調が設置されることとなります。

今後も亀岡市は、子どもたちのよりよい教育環境の

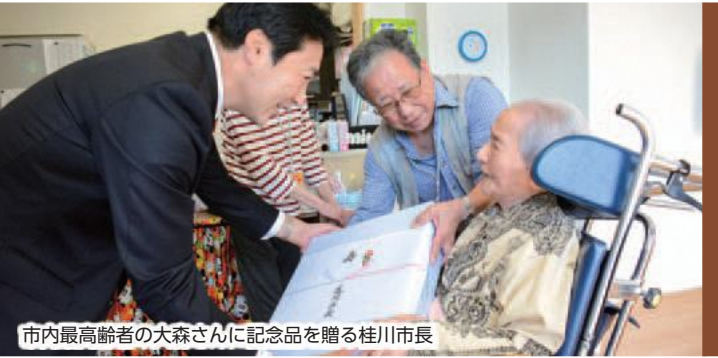


授業で使用する教室に整備

推進に取り組んでまいります。 ※既に工事が完了している学校については運用が始まっています。

いつまでもお元気で

9月は敬老月間です



市内最高齢者の大森さんに記念品を贈る桂川市長

9月16日の「敬老の日」を中心に、今年も市内各地で、長年にわたり社会の発展に貢献されてきた高齢者の皆さんに感謝し、これからも元気に過ごしていただこうと敬老行事が開催されました。

9月6日、桂川市長が市内最高齢者の大森敏子さん（107歳・大井町）が入所されている施設を訪問し、「いつまでもお元気でいてください」とお祝いの言葉とともに記念品を贈呈。大森さんは、「ありがたうございます」と、にっこりとほほ笑まれました。息子さんは「日本最高齢を目指してや」と母親の長寿を喜んでおられました。

令和2年度小規模特認校の児童募集が始まります

小規模特認校制度は、小規模で特色ある教育活動を行う学校に就学を希望する場合、市内のどこからでも入学・転校を認める制度です。導入する東別院・西別院・保津小学校では、特色のある教育を



大学の先生を招き理科の実験（東別院小学校）

行っています。

・東別院小学校
さまざまな分野の専門家をゲストティーチャーに招き、専門的な知識などをわかりやすく教えてもらい、体験しています。



起業体験活動の取り組み（西別院小学校）

・西別院小学校
「起業体験活動」を実施。仮想会社（NISSIカンパニー）を設立し、自分たちで商品を開発・販売しています。

・保津小学校
全校で英語を身近に感じるエンジンョイイングリッシュチャターに取り組みとともに、大学・地域連携を通して、外国の文化に慣れ親しみ、英語を楽しむ活動を充実します。



英語を身近に感じられる学習環境（保津小学校）

学校説明会・見学会

- 東別院小学校：随時見学を受け付けておりますので、希望される場合は事前に東別院小学校まで連絡をお願いします。
- 西別院小学校：令和元年10月19日（土）
午前9時30分受付（正午終了予定）
- 保津小学校：令和元年10月12日（土）
午前8時50分受付（正午終了予定）

※各校上記日程に以外にも自由見学会などがあります。申請書提出期間令和元年10月15日～12月20日まで応募方法など詳しくは、市ホームページまたは次へ東別院小学校（☎27-2043）西別院小学校（☎27-2201）、保津小学校（☎22-0350）



▲市ホームページ

やさしい健康講座

第138回

市民の皆さんの健康に関して、今回は市立病院の医師が、専門分野についてアドバイスをします。



鼠径ヘルニアという疾患を知っておられますか？ 俗にいう脱腸のことです。大腿と腹部の境界付近のことを医学的には鼠径といいますが、そのお腹の壁の弱いところから腸が脱出するのが鼠径ヘルニアです。立ったり、おなかに力を入れたときに膨らみが顕著になり、横になると消失する

のが特徴です。男性に多く、高齢の方にはお子さんとご一緒に放置しておくこと、腸の血流障害をおこしてしまいう危険性があります。そのため診断がつけば治療が必要となります。治療としては、手術以外に治す方法はなく、網状のメッシュを埋め込み、鼠径を補強することが標準的治療になります。鼠径を直接切開してメッシュを埋め込む術式が主でしたが、最近では鏡視下（腹腔鏡）でメッシュを埋め込む術式が急速に浸透しつつあります。全身麻酔が必要となりますが、創が小さく痛みが少なく、両側同時修復可能ななどの利点も多いです。自覚症状のある方は一度外科を受診されることをおすすめします。

のが特徴です。男性に多く、高齢の方にはお子さんとご一緒に放置しておくこと、腸の血流障害をおこしてしまいう危険性があります。そのため診断がつけば治療が必要となります。治療としては、手術以外に治す方法はなく、網状のメッシュを埋め込み、鼠径を補強することが標準的治療になります。鼠径を直接切開してメッシュを埋め込む術式が主でしたが、最近では鏡視下（腹腔鏡）でメッシュを埋め込む術式が急速に浸透しつつあります。全身麻酔が必要となりますが、創が小さく痛みが少なく、両側同時修復可能ななどの利点も多いです。自覚症状のある方は一度外科を受診されることをおすすめします。